



尾久幼稚園マスコットキャラクター
おぐっぼー

風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>



「新たな日常」の中で・・・

園長 小島 武志

教育目標

- 元気で明るい子
- よく考え、すすんで行動する子
- 思いやりのある子

秋も深まり、めっきり日脚も短くなってまいりました。保護者の皆様には日頃より本園の教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。子供たちは「新たな日常」の中で、毎日マスクをし、その都度手洗いもしっかりするなど感染症対策をしながらの園生活を元気に楽しく送っています。

先月の運動会、ご参観いただきありがとうございます。制限された環境での練習、かけっこ・リズムの十分な練習時間を取ることができませんでした。当日、子供たちは思いっきり体を

動かし、練習した成果を表現してくれました。保護者の皆様に書いていただいたアンケートから、ご家庭で本番の日までかけこのこと、リズムが上手にできたところやできなかったところなどを一所懸命お家の方に話している様子がうかがえました。また、「ドキドキするけど、楽しすぎてねむれない」ほど運動会を楽しみにしていたこともわかりました。当日、



年中うさぎ組 玉入れ
【おどれ！ポンポコリン】



年少たんぼ組 リズム
【ポンポン・ポップコーン】

元気いっぱい走りまわりました。思いっきりリズムに乗って踊っていました。温かいご声援ありがとうございました。



年長そら組 バルーン
【ぼよん行進曲】



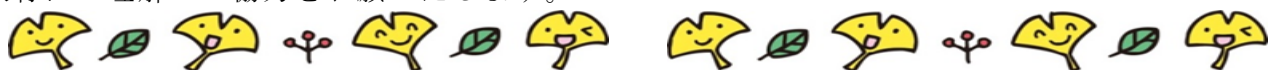
【いもほり遠足】

13日は、うさぎ組・そら組でいもほり遠足に行ってきました。天気にも恵まれ、みんな汗を流しながらいもを掘っていました。

一人3株掘りましたが、たくさんお芋ができていました。お土産もたくさん持って帰りました。そして、お土産のおいもを使った料理を食べながら、いもの掘り方やいもがなかなか抜けないことなどお子さんの話を聞いた楽しいひと時を過ごされたことと思います。

27日には、たんぼ組が足立区生物園へ遠足に行きました。珍しい生き物を見て「わあー」と興奮気味でした。どんぐりも落ち葉も拾いました。手作りのどんぐりバッグに拾ったどんぐりや落ち葉を入れて、みんな満足気な表情をしていました。

2学期に入って園行事も少しずつですが、例年とは実施方法を変えながら実施したいと思えます。そして、子供たちにいろいろな経験をする場を提供したいと考えています。今後とも、本園の教育にご理解・ご協力をお願いいたします。



<お子様の体調管理について>

- 自分で衣服の調節ができるよう、お子様が脱ぎ着しやすい洋服を着せてください。
- 感染症予防のために、手洗い・うがい、咳エチケットを習慣にしましょう。
- 引き続き、健康の記録とマスク着用のご協力をお願いします。
- 自分で鼻をかむ習慣を身に付けられるようにしていきましょう。



11月のねらい

《3歳 たんぽぽ組》

- ・自分のやりたいことにじっくり取り組んだり、興味のある遊びをしている友達と関わったりしながら遊ぶ楽しさを感じる。
- ・身の回りの始末や生活に必要なことを自分でしようとする。

《4歳 うさぎ組》

- ・遊びや生活の中で、クラスの友達とみんなで活動することを楽しむ。
- ・秋の自然に触れながら、季節の変化を感じる。

《5歳 そら組》

- ・友達と考えを伝え合ったり、自分の役割を意識したりしながら、表現を工夫することを楽しむ。
- ・友達と共通の目的や願いを共有し、協力してやり遂げようとする。
- ・季節の変化に気づき、遊びや生活に取り入れる楽しさを感じる。



やわらかな陽ざしの中で遊ぶ 風の子たち！

＜年少・たんぽぽ組＞

初めての運動会はお家の方に見守られながら、元気一杯走ったり踊ったりして伸び伸びと過ごすことができました。メダルをもらった時のとても嬉しそうな表情が印象的でした。

運動会後も走ったり踊ったりすることが大好きなたんぽぽ組の子ども達ですが、保育室では、ソフト積み木を組み合わせて車を作ってドライブごっこをしたり、ままごとの食べ物やお弁当を並べて「いらっしゃいませー」「これください」とお店屋さんごっこをしたりして友達とのやり取りを楽しむ姿もみられるようになってきました。

先日の初めての遠足では、動物や魚、美しい蝶を目の前で見たり、公園でドングリや落ち葉を夢中になって拾ったりしました。

11月も身近な秋の自然に触れながら、教師や友達のしていることに興味をもったり、一緒に遊ぶ楽しさを感じたりできるよう援助していきます。

＜年中・うさぎ組＞

運動会では、一生懸命に走ったかけっこ、笑顔いっぱいのリズム、保護者の方と一緒に嬉しそうだった親子競技、そして楽しみにしていた玉入れと、どれも楽しみながら取り組んでいました。運動会後には、年長児の紅白リレーを見た経験から折り返しリレーをしたり、他の学級の運動会リズムを踊ったりしていました。運動会の取り組みをとおし、年少児への親しみや年長児への憧れを感じています。

芋ほり遠足ではたくさんのサツマイモを収穫しました。大きなサツマイモを掘り「見て！」と嬉しそうに教えてくれたり、「お家にもって帰るんだ！」と保護者の方に見せることを楽しみにしたりする姿がありました。また、拾ったドングリを立てかけた板に転がして遊んだり、ドングリの絵本の絵に重ねて「これかな？」と考えたり、ひびが入ったドングリを割ってみたりと、遊びに取り入れて楽しんでいます。

11月も、秋の自然に触れたり、友達と関わりながら自分のしたいことや思いを表したりできるように援助していきます。

＜年長・そら組＞

そら組のやる気と笑顔と同じくらいキラキラのまぶしい天気の中、幼稚園最後の運動会を行うことができました。どの種目や係の仕事でも運動会に向けて力いっぱい取り組んできた成果を発揮し、そら組の子ども達からは、たくさんの自信や成長を感じました。バルーンの最後の技「流れ星」で「心をひとつに！」と成功した経験は、特に子ども達に深く残ったようで、運動会後にも「心をひとつに！」を合言葉のように友達と伝え合っています。運動会を通して、またぐんと成長したそら組の子ども達は、友達とのつながりも深まってきました。11月も友達と思いを伝え合いながら、過ごしていこうと思います。

運動会後には、園庭や屋上で友達と誘い合ってドッジボールを楽しんでいます。「向こうから投げて！」「私やるよ」「こういう作戦はどう？」と友達と声を掛け合って、体を思い切り動かして楽しんでいます。友達と協力して楽しむ姿を大切にしながら、12月のこども会に向けての活動を進めていく予定です。子ども達と一緒に考えながら、そら組らしい表現をしていけるように取り組んでいきます。